

降雪・降霜後における農作物の技術対策

平成27年4月8日

富里市農業指導連絡協議会

富里市植物防疫協会

急激な低温時は、凍霜害による生育不良と病害の発生が懸念されます。適切な対応で、被害を最小限に食い止めましょう。

農薬の使用にあたっては、ラベルに表示された使用基準を必ず守りましょう。

- ・凍霜害を受けた株は、病気が発生しやすくなるので、薬害に注意しつつ速やかに殺菌剤（治療剤）を散布する。
- ・2回目以降の薬剤散布時に「メリット青」「ポリコープ青」等の窒素入り葉面散布剤を加用し、生育回復に努める。葉面散布は3回程度続けるが、樹勢を見て回数を加減する。

★スイカ

- ・交配期～肥大期のものでは、不着果・裂果・空洞果が発生しやすくなるため、20℃程度を目安に可能な限り保温に努め、摘果を遅らせる。また、菌核病が発生しやすいため、収穫期まで十分注意する。
- ・交配期前のものでは、1～2週間後に開花する雌花に障害（柱頭の欠如等）が発生しやすくなるので、着果時期がずれることを念頭に置いた管理を行う。
- ・つるそろえ前の圃場では、樹勢の回復を待ってからつるの管理を行う。樹勢が回復しない程度に被害がひどい場合は、苗を植え直す。

◆発生が予想される病害

▼菌核病・つる枯病 等

スミレックス水和剤・ロブラール水和剤・スミレックスくん煙顆粒

★トウモロコシ

- ・低温には非常に弱く、葉の被害が大きくなるため、生育が遅れやすい。葉面散布剤を積極的に利用し、生育を回復させる。

★水稻

- ・育苗期間中に植物体が適正温度（右表）を下回ると、障害が発生しやすくなる。こまめに観察し、生育に異常があるようであれば、指導機関に相談する。

	出芽 （無加温）	緑化 （稚苗）	硬化 （稚苗）
昼	20～30℃	20～25℃	5～25℃
夜	10～20℃	10～20℃	

お問い合わせ先

印旛農業事務所 改良普及課	TEL	043-483-1128
J A 富里市 営農指導課	TEL	0476-93-5652
〃 購買生活課（売店）	TEL	0476-93-1911
丸朝園芸農業協同組合 購買課	TEL	0479-77-1695